

消風散・蟬退

藥局文献検索資料

1999. 2. 1

水疱性類天疱瘡に対する消風散の有効例
-中村 庸-

生薬: _____
成分: _____
処方: 柴苓湯、消風散

雑誌名: 漢方診療 _____ 8巻 1989年 6号 42頁 通算 _____ 頁

報告: 治験例 標的器官: 感染・免疫系
剤形: エキス剤 投与経路: ヒト経口 投与量: _____

併用薬: プレドニン、プラズマサクシネート

内容: 症例報告: 水疱性類天疱瘡[75歳、男] 1)柴苓湯を使用した結果、ステロイドの減量、副作用の防止をはかる事が出来、更に消風散でステロイドの離脱に成功した 2)消風散使用前後の血清電解質の変動には著変はなく、血圧の上昇、浮腫の発生も認められなかった

男性の冷え性の1治験例
-逸見 桂子-

生薬: _____
成分: _____
処方: 消風散、四物湯、五積散

雑誌名: 現代東洋医学 _____ 12巻 1991年 ***号 155頁 通算 _____ 頁

報告: 治験例 標的器官: 血液
剤形: エキス剤 投与経路: ヒト経口 投与量: 7.50g/day

併用薬: _____

内容: 症例報告: 皮膚の掻痒感(64歳、男) 消風散を服用し、やや軽快したが冷え性が発症。その後、四物湯を投与したが余り改善しない為、五積散に変方した結果、約4ヶ月で治癒した。
参照; 難病、難症の漢方療法第4集(臨時増刊号)

青年期のアトピー性皮膚炎
-塚本 裕壮-

生薬: _____
成分: _____
処方: 消風散、黄連解毒湯、小柴胡湯

雑誌名: 漢方研究 _____ 巻 1988年 204号 18頁 通算 410頁

報告: 治験例 標的器官: 感染・免疫系
剤形: エキス剤 投与経路: ヒト経口 投与量: _____

併用薬: リザベン、副腎皮質ホルモン外用剤

内容: 症例報告: 消風散、黄連解毒湯、小柴胡湯がアトピー性皮膚炎に効果的であった①参照; 第5回和漢医薬学会大会要旨集P.57②小児アトピー性皮膚炎と漢方療法-越婢加朮湯、消風散を中心に; 和漢薬シンポジウム16, 215, 1983

マウス接触皮膚過敏反応における消風散の効果
-日笠 穰-

生薬: _____
成分: _____
処方: 消風散

雑誌名: 皮膚 _____ 28巻 1986年 4号 584頁 通算 _____ 頁

報告: 実験 標的器官: 感染・免疫系
剤形: 煎剤 投与経路: 動物経口 投与量: 800.00MG/KG

併用薬: DNFB

内容: ①短期投与では耳介腫脹の抑制作用は認められない②長期投与により耳介腫脹の有意な抑制が認められた③慢性接触皮膚炎モデルを作成 2回目のDNFB challengeによる耳介腫脹が1回目よりも抑制された④消風散の耳介抑制効果は末梢のchemical mediatorsの放出阻止と考えられた

「返品」：副作用情報228

生薬：
成分：
処方：消風散（当帰6石膏10）加大黄2.5

雑誌名：東医研データ 巻 1993年 号 頁 通算 頁

報告：副作用 標的器官：筋・感覚器系
剤形：煎剤 投与経路：ヒト経口 投与量：

併用薬：

内容：湿疹[T14.9.4、男]：上記処方後、耳鳴り、痒みが発現。
その後、消風散加大黄2に変更となった。（丁）

「返品」：副作用情報224

生薬：
成分：
処方：消風散加大黄1 桔梗3

雑誌名：東医研データ 巻 1993年 号 頁 通算 頁

報告：副作用 標的器官：筋・感覚器系
剤形：煎剤 投与経路：ヒト経口 投与量：

併用薬：

内容：湿疹[T14.9.4、男]：上記処方後、痒みが悪化し、便秘になる。
その後、消風散加大黄2に変更となった。（丁）

「返品」：副作用情報74

生薬：
成分：
処方：補中益気湯合消風散料合桂枝茯苓丸加麦門冬4

雑誌名：東医研データ 巻 1990年 号 頁 通算 頁

報告：副作用 標的器官：筋・感覚器系
剤形：煎剤 投与経路：ヒト経口 投与量：

併用薬：

内容：湿疹[s49.1.10、女]：上記処方後悪化。荊芥連翹湯に変更となった。
（佐藤）

「返品」：副作用情報37

生薬：
成分：
処方：消風散

雑誌名：東医研データ 巻 1989年 ***号 ***頁 通算 頁

報告：副作用 標的器官：感染・免疫系
剤形：煎剤 投与経路：ヒト経口 投与量：

併用薬：

内容：アトピー性皮膚炎[s49.1.22、男]：上記処方後、胡麻を食べた時と同じ
湿疹が発現。その後、抑肝散に変更後、安定した。（石野）

成人型難治性アトピー性皮膚炎に対して消風散が奏功した1例
-河野 修二-

生薬：
成分：
処方：消風散、黄連解毒湯

雑誌名：日本東洋医学雑誌 44巻 1993年 3号 129頁 通算 頁

報告：治験例 標的器官：感染・免疫系
剤形：煎剤 投与経路：ヒト経口 投与量：

併用薬：

内容：症例報告：アトピー（合併過敏性腸症候群）（34歳、男）①消風散合黄連解毒湯投与の結果、1ヶ月後に皮膚発赤が緩和した。②次に合温清飲加減にしたところ、皮膚の湿潤化に成功した。③ステロイド剤の減量も可能となった。

掌蹠膿疱症の十年来の難症患者を消風散、温清飲で、先天性脊椎奇形による腹痛に芍薬甘草附子湯で好転 一矢数 道明-

生薬：
成分：
処方：消風散、温清飲、芍薬甘草附子湯

雑誌名：漢方の臨床 41巻 1994年 8号 114頁 通算 頁

報告：治験例 標的器官：感染・免疫系
剤形：煎剤 投与経路：ヒト経口 投与量：

併用薬：

内容：症例報告：①掌蹠膿疱症（44歳、女）に対して温清飲背負、消風散②脊椎奇形による腹痛（70歳、女）に対して芍薬甘草附子湯を投与した結果、症状の改善が認められた。

Effects of Kampo medicines on atopic dermatitis and complement system
-Yuso TSUKAMOTO-

生薬：
成分：
処方：小柴胡湯、桂枝茯苓丸、消風散、黄連解毒湯

雑誌名：和漢医薬学会誌 10巻 1993年 2号 頁 通算 135頁

報告：治験例 標的器官：感染・免疫系
剤形：エキス剤 投与経路：ヒト経口 投与量：7.50g/day

併用薬：

内容：①対象：アトピー性皮膚炎1531例 期間：3ヶ月②結果：1)3ヶ月以内に改善された著効は52%であった 2)補体価低値群が漢方療法により正常地域に回復する事が認められた

湿疹、皮膚炎群の漢方治療
-山口 全一-

生薬：
成分：
処方：消風散、加味逍遥散、温清飲、他

雑誌名：現代東洋医学 13巻 1992年 2号 24頁 通算 頁

報告：治験例 標的器官：感染・免疫系
剤形： 投与経路： 投与量：

併用薬：

内容：①漢方製剤の使用法について1)随証投与法 2)病名投与法 3)皮膚病変に基づく投与法 4)その他②湿疹、皮膚炎群に対する漢方製剤別の用法について1)消風散2)温清飲、他③湿疹、皮膚炎群に対する漢方製剤の臨床報告について：湿疹皮膚炎群に対する使用報告のある漢方製剤一覧